

## 第2期中期目標・計画 総合評価（自己点検評価）【総括表】

事業項目 (Plan)	主な活動実績 (Do)	評価結果 (Check)	今後の課題・対応方向 (Action)
1 資料の収集・保存 (博物館基盤G)	○ 収集活動の継続実施 ○ IPMによる保存環境維持 + 樺連資料の受入・保管	B +	・資料に関するデジタル・アーカイブ化の推進 ・未整理・未登録資料の段階的な解消 ・公開承認施設としての条件維持のための保存環境の維持
2 展示 (博物館基盤G)	○ 利用者目標 総合94%、特別85% △ インバウンド目標 44% + おうちミュージアム開設	C +	・よりわかりやすく、魅力的・訴求力ある企画 ・多様な来館者への対応（多言語解説、ユニバーサル表示等）
3 調査研究 (研究戦略G)	○ 研究成果の展示への反映 ○ 調査研究の継続実施 + 樺連資料の研究	B +	・研究成果のデジタル技術による還元などを検討・強化 ・資料の「意義」を意識した調査研究を推進
4 北海道開拓の村の 整備 (企画G)	○ 開拓の村の計画的整備 ○ 外部資金を活用した展示改修 + 文化観光認定計画事業による整備	B +	・建造物にまつわる歴史・文化を伝える展示改訂・充実 ・建造物のリアリティと建物内の演示（家具・調度品等）両立
5 教育普及事業 (道民サービスG)	△ イベント参加者目標 12% △ はっけん広場利用者目標 15% + おうちミュージアム開設	C +	・講座等のイベント参加者、はっけん広場利用者数の拡大 ・場所や時間を問わず参加可能なデジタル技術活用方法の検討
6 ミュージアムエデュ ケーター機能の強化 (道民サービスG)	○ 来館者対応の職員研修の実施 ○ 博物館の利用方法の周知	B	・職員の資質とスキル向上に資する組織環境の整備・充実 ・補助教材貸出等についての学校や教育委員会等への一層の周知と連携
7 施設及び 周辺環境の整備 (総括G)	○ 記念ホール等の活用 ○ 博物館の利用方法の周知 + 文化観光認定計画事業による整備	B +	・バリアフリー化など多様な利用者の安全・安心を確保 ・道民・観光客等、多様な来館者への対応を一層充実 ・3施設一体となったフィールドミュージアムの認知向上
8 広報 (道民サービスG)	◎ ウェブサイトアクセス目標 135% △ 外部イベント参加停滞 + 企画展広報のデジタル活用	B +	・多様なターゲットに対して、効果的なアプローチを行うため、SNS等による情報・コンテンツの発信強化
9 評価制度の活用と 利用者ニーズの把握 (総括G、企画G)	○ 利用者満足度の実施、高水準 △ 一部評価未実施	C	・博物館の運営の改善を図るため、組織として課題等の共通認識化と、各事業の水準向上に資する評価制度のあり方を検討
10 道民参加の推進 (企画G)	○ サークル、ボランティア活動実施 ○ 道民参加型展示の実施 + ちやれんが古文書クラブ開設	B +	・地域との信頼・関わりを深めていくため、参加対象にとって望ましい相互関係のあり方を検討、取組を充実 ・道民からの意見やニーズを把握する必要
11 博物館 ネットワーク (企画G)	○ 日博協、道博協での連携 ○ 近隣文教施設の活動継続 + ウポボイの運営協力	B +	・地域との信頼・関わりを深めていくため、参加対象にとって望ましい相互関係のあり方を検討、取組を充実 ・防災に関する博物館等との連携・協力
12 情報発信 (博物館基盤G)	◎ ウェブサイトアクセス目標 135% △ レファレンス目標 40% + 樺連資料の保管・研究・活用	B +	・資料、調査研究、博物館活動に関するデジタル・アーカイブ化推進 ・レファレンス事例集積による学習支援・レファレンスの質向上
13 人材育成機能の強 化と社会貢献 (企画G)	○ 博物館実習等の継続実施 ○ 職員外部研修・派遣の実施 + 博物館実習評価基準の明確化	B +	・職員の資質とスキル向上に資する、より多くの参加機会の創出
14 研究成果の発信 (研究戦略G)	○ 学術刊行の継続実施 ○ 学会発表の継続実施 + 樺連資料の保管・研究・活用	B +	・研究成果のデジタル技術による還元などを検討・強化 ・資料の「意義」を意識した調査研究を推進
15 アイヌ民族文化研究 センターの事業 (アイヌ研)	○ アイヌ文化研究・講演等継続実施 ○ アイヌ文化学術情報誌発信 + ウポボイの運営協力	B +	・伝統的なモノを展示・解説するだけでなく、モノとともにある精神や歴史を共有し、その文化が現代にどのように継承されているのか等を意識して事業を進める。

【評価結果】A：計画以上に達成、B：概ね計画どおり達成、C 達成せず（重点目標やその他の実績があるものは+）

## 第2期中期目標・計画 総合評価（自己点検評価）

項 目	1 資料の収集・保存										
担 当 課	学芸部 博物館基盤グループ（現 学芸部 展示・資料課）										
位置付け等	〈北海道博物館基本的運営方針〉 基本方針1 北海道立の総合博物館として、備えるべき基本的な機能を検証し、その充実を図る。										
中期目標・計画の内容 (Plan)	(1) 資料の収集 ～ ア 資料収集方針に基づく適切な収集、イ 適切に整理・分類・登録、ウ 目録の刊行 (2) 収蔵機能の強化～ア 収蔵資料データベースの適切・安全な運用、イ 被災資料受入体制、ウ 収蔵スペース確保 (3) 資料保存環境の維持 ～ 虫菌害防除対策、災害対策などを徹底した資料保存環境の維持 (4) 収蔵資料の利用への対応 ～ 特別観覧や貸出へ対応し、収蔵資料利用機会を創出										
予算措置 の状況	(単位：千円)										
	事業名	概要	R2	R3	R4	R5	R6	計	備考		
	博物館事業費 (資料収集・保存管理)	博物館の各種活動(資料収集・保存)に要する経費	495	445	355	355	355	2,005			
	博物館事業費(アイヌ研:資料収集)	アイヌ文化に関する資料収集等経費	1,555	1,630	1,512	268	268	5,233			
	情報システム整備	博物館情報システム管理費	7,642	5,338	5,338	5,338	5,344	29,000			
	権太記憶継承事業費 (資料保管)	全国権太連盟から委譲された資料の保存処理	2,973	2,753	2,576	1,254	633	10,189			
文化観光推進事業費 (魅力増進事業)	収蔵資料のデジタル化等	-	-	-	9,799	13,300	23,099	国庫補助事業			
活動実績 (Do)	(単位：件数)										
	内 容	数値目標	R2	R3	R4	R5	R6	計	備考		
	資料収集件数	-	28	22	40	10	3,456	3,556	-		
	資料審査会開催件数	-	12	6	7	8	6	39	-		
	収蔵資料の新規登録数	-	544	331	386	3,852	3,559	8,672	-		
	一括資料目録刊行件数	-	-	-	-	1	1	2	-		
	資料データベース新規登録件数	-	762	1,137	426	489	3,484	6,298	-		
	資料情報のウェブサイトでの新規公開件数	-	-	-	258	862	298	1,418	-		
	資料のカビ・汚損等の発生件数	-	-	-	-	-	-	-	-		
	資料貸出点数	-	25	25	24	14	32	120	-		
	特別観覧点数	-	34	40	53	57	45	229	-		
模写品等刊行物等使用承認点数	-	129	126	135	114	111	615	-			
自己点検 評価 (Check)	達成区分	理 由							評価結果		
	目標・計画の達成状況	概ね計画どおり達成	・(1) 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、収集活動の抑制が余儀なくされた中、計画期間の前期の数字は低下したものの、期を通じて継続的に収集活動を実施 ・(2) 新たなシステム(I.B.MUSEUM SaaS)に更新し、管理や公開の水準・機能を強化 ・(3) IPM(Integrated Pest Management; 総合的有害生物管理)も取り入れ、資料のカビ・汚損を発生させない等、保存環境を維持 ・(4) 資料貸出、特別観覧、画像利用も期を通じて継続的に推移							<b>B+</b>	
	重点目標 その他実績等の有無	有	・令和5年度から文化観光推進法に基づく「北海道立総合博物館を中核とした野幌森林公園エリアの文化観光推進拠点計画」の認定により獲得した外部資金を活用し、資料のデジタル化を実施【重点①】 ・権太の歴史や文化を継承することを目的に、(一社)全国権太連盟から委譲された資料(6,000点)を受入れ(R2～15年間で保管・研究・活用に関する事業を実施(予定))。また、当該資料に係る一括資料目録を刊行(R5・R6年度)【重点④】								
成果 (アウトカム)	5年間の成果(基本的運営方針に定める使命や基本方針の視点) コロナ禍にあっても、途絶えることなく、資料収集活動を継続することができたほか、収蔵機能を強化し、良好な保存環境、利用対応を維持できたことで、基本方針1(1)総合博物館として、活動の基本となる収集保存機能を高め、質の高い活動を展開する博物館づくりに貢献した。										
課題と対応方向 (Action)	今後の課題と対応方向(第3期中期目標・計画期間へ引き継がれる課題等)										
	・資料に関するデジタル・アーカイブ化の推進【答申、改正博物館法、第3期計画】 ・未整理・未登録資料の段階的な解消【答申、第3期計画】 ・公開承認施設としての条件維持のための保存環境の維持【第3期計画】										

## 第2期中期目標・計画 総合評価（自己点検評価）

項 目	2 展 示									
担 当 課	学芸部 博物館基盤グループ（現 学芸部 展示・資料課）									
位置付け等	〈北海道博物館基本的運営方針〉 基本方針1 北海道立の総合博物館として、備えるべき基本的な機能を検証し、その充実を図る。									
中期目標・計画の内容 （ Plan ）	(1) 総合展示室の運営 ア 定期的な入替えによるわかりやすく楽しめる展示空間の提供、イ より魅力的な展示のあり方検討、 ウ 総合展示のメンテナンス (2) より魅力的な企画展示の実現 等									
予算措置の状況	(単位：千円)									
	事業名	概要	R2	R3	R4	R5	R6	計	備考	
	博物館事業費 (総合展示・テーマ展)	博物館の各種活動(展示、展示解説員)に要する経費	6,633	7,187	7,004	6,992	14,370	42,186		
	博物館事業費 (大型プリンタ)	大型プリンタリース料	183	183	183	183	183	915		
	博物館事業費 (展示解説業務)	会計年度任用職員雇用経費	5,054	5,119	5,124	5,282	12,813	33,392		
	特別展開催事業費	特別展開催に要する経費	25,129	10,000	10,000	10,000	10,000	65,129		
	樺太記憶継承事業費 (展示公開)	全国樺太連盟から委譲された資料の展示	3,235	3,236	3,670	3,748	3,720	17,609		
	文化観光推進事業費 (魅力増進事業)	博物館展示改修	-	-	-	9,799	13,300	23,099	国庫補助 【再掲1】	
文化観光推進事業費 (理解促進事業)	展示多言語化等	-	-	-	3,924	6,740	10,664	国庫補助		
活 動 実 績 ( Do )	(単位：人、回、件数)									
	内 容	数値目標	R2	R3	R4	R5	R6	計	達成度	
	総合展示室利用者数	400,000	43,644	36,121	124,391	103,936	66,184	374,276	93.6%	
	総合展示室利用者数(うち外国人)	34,000	499	384	2,592	5,506	5,937	14,918	43.9%	
	特別展示室利用者数 (特別展テーマ)	260,000	12,563 (恐竜※)	26,260 (湿地※)	82,385 (昆虫)	60,582 (縄文)	39,222 (鉄道)	221,012	85.0%	
	総合展示資料の入替件数	-	46	174	224	243	218	905	-	
	クローズアップ展示回数	-	27	24	26	27	27	131	-	
	来館者参加型展示コーナー参加件数	-	2,741	1,074	4,761	1,694	1,196	11,466	-	
※新型コロナにより特別展中止										
自己点検評価 (Check)	達成区分	理 由							評価結果	
	達成せず	・ (1) (2) 新型コロナ拡大に伴う臨時休館や特別展(R2・R3)の中止、インバウンドの減少などの影響で、総合展示室・特別展示室の利用者数については共に数値目標の達成に至らなかった。(特に外国人が大きく下回る。) ・ R4、R5年度の特別展は、マスコミとの共催により、国宝・重要文化財を多数展示する等魅力的な展示会を開催することができ、高い広報力もあり、利用者数が増加した。また、この両年は、特別展に牽引され、総合展示室の利用者数も増加した。							<div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">C +</div>	
	有 無	重点目標その他の実績等の内容								
	重点目標 その他 実績等 の有無	・ 新型コロナ拡大に伴い、臨時休館・入場制限を行わずを得ない中、オンラインを活かして、第17回企画テーマ展「楽器 見る・知る・考える－北海道博物館資料＋榎谷隆男氏コレクション」及び特別企画展「北海道の恐竜(完全予約制で実施。会期中よりオンライン化。)を実施するとともに、「おうちミュージアム」のコンテンツとして総合展示を紹介する「バーチャル北海道博物館」を開設した。								
成果 (アウトカム)	5年間の成果(基本的運営方針に定める使命や基本方針の視点) 新型コロナ拡大の中、研究成果を活かした、より魅力的な展示(のあり方含め)を企画するとともに、展示のオンライン公開など、多様な利用方途の実現が図られた。 基本方針1(1) 総合博物館として、活動の基本となる展示機能を高め、質の高い活動を展開する博物館づくりに貢献した。									
課題と対応 方向 (Action)	今後の課題と対応方向(第3期中期目標・計画期間へ引き継がれる課題等)									
	・ 利用者数の拡大に向けた、よりわかりやすく、魅力的・訴求力ある企画【第3期計画】 ・ 多様な来館者への対応の充実(多言語解説、ユニバーサル表示、インタラクティブな展示企画など) 【答申、第3期計画】									

第2期中期目標・計画 総合評価（自己点検評価）

項目		3 調査研究									
担当課	学芸部 研究戦略グループ（現 学芸部 研究交流課）										
位置付け等	〈北海道博物館基本的運営方針〉 基本方針1 北海道立の総合博物館として、備えるべき基本的な機能を検証し、その充実を図る。 基本方針4 専門的・総合的な研究を行う博物館として、北海道の未来に貢献する。										
中期目標・計画の内容 ( Plan )	ア 研究成果を総合展示や企画展示、教育普及事業に反映 イ 道民と連携した基礎的な調査研究を実施、 ウ 外部研究機関等と連携したプロジェクトを推進 エ 北東アジアをはじめ、道と友好関係にある地域の博物館・研究機関との交流・共同研究を推進 オ 館内での研修会、館外での長期研修への派遣など、職員の研究資質の向上										
予算措置の状況	(単位：千円)										
		事業名	概要	R2	R3	R4	R5	R6	計	備考	
		博物館事業費(アイヌ研：調査研究)	アイヌ文化に関する調査研究費	1,454	1,182	920	919	919	5,394		
		試験研究費（一般研究）	道立試験研究機関としての研究費	1,900	1,710	1,170	1,399	1,399	7,578		
		博物館試験研究費（地域情報集積プロジェクト）	道民と協働・連携した研究費	2,985	2,768	2,251	1,964	1,964	11,932		
		博物館試験研究費（外部資金活用研究）	競争的外部資金を活用した研究費	6,460	6,653	6,270	6,337	7,204	32,924	科研費間接経費	
		博物館試験研究費（総合研究プロジェクト）	地域博物館と連携した研究費	1,717	1,484	1,388	1,367	1,367	7,323		
		博物館試験研究費（北方文化共同研究事業）	道と友好提携している州との共同研究費	2,069	1,782	1,059	1,801	1,001	7,712		
		博物館試験研究費（研究成果の集約・発信）	研究紀要等の発行	599	599	549	702	702	3,151		
		樺太記憶継承事業費（調査研究）	全国樺太連盟から委譲された資料の研究費	300	300	300	1,680	1,680	4,260		
活動実績 ( Do )	(単位：件数、回数)										
		内容	数値目標	R2	R3	R4	R5	R6	計	備考	
		地域情報集積プロジェクト研究課題数	-	5	5	5	5	5	20	-	
		外部資金活用研究課題数	-	17	14	17	15	14	60	-	
		総合研究プロジェクト研究課題数	-	4	4	3	3	3	13	-	
		北方文化共同研究事業研究課題数	-	2	0	2	0	2	4	-	
		公開講座開催数	-	1	0	1	0	0	1	-	
		定例研究報告会開催数	-	6	9	11	11	10	41	-	
自己点検評価 ( Check )	達成区分	理由							評価結果		
	目標・計画の達成状況	概ね計画どおり達成	・ア これまでの研究成果を活用し、総合展示・企画展示に反映することができた。 ・イ～エ 新型コロナの影響を受けつつも、継続的に実施。 ・オ 館内での研修会（研究報告会）、館外への派遣（事業13）についても、定期的・継続的に実施。							 <b>B+</b>	
	重点目標	有 無	重点目標その他の実績等の内容								
	その他実績等の有無	有	樺太の歴史や文化を継承することを目的に、（一社）全国樺太連盟から委譲された資料（6,000点）を受入れ（R2～15年間で保管・研究・活用に関する事業を実施【重点④】）								
成果 (アウトカム)	5年間の成果（基本的運営方針に定める使命や基本方針の視点） 北海道特有の地域的課題に基づく調査研究の企画立案や外部資金の積極的な獲得により、着実に調査研究活動を進めることができ、基本方針1（1）総合博物館として、活動の基本となる調査研究機能を高め、北海道ならではの自然・歴史・文化に関わる遺産を最大限活かし、質の高い活動を展開する博物館づくり、4（1）研究成果を活かして北海道の豊かな未来に貢献した。										
課題と対応方向 ( Action )	今後の課題と対応方向（第3期中期目標・計画期間へ引き継がれる課題等） ・調査研究の成果を、デジタル技術の活用など、多様な形で社会に還元する仕組みを検討・強化【答申】 ・自然、歴史、文化に関する資料等の「意義」を伝えられることを意識した調査研究を推進【答申】										

## 第2期中期目標・計画 総合評価（自己点検評価）

項 目	4 北海道開拓の村の整備									
担 当 課	総務部 企画グループ（現 総務部 企画課）									
位置付け等	〈北海道博物館基本的運営方針〉 基本方針1 北海道立の総合博物館として、備えるべき基本的な機能を検証し、その充実を図る。									
中期目標・計画の内容 （ Plan ）	ア 歴史的建造物群を、北海道の貴重な財産として後生に伝える取組の推進 イ 建造物内の展示の充実 ウ 人材育成拠点などとしての活用の検討									
予算措置の状況	（単位：千円）									
	事業名	概要	R2	R3	R4	R5	R6	計	備考	
	開拓の村費	建造物老朽化調査経費	2,002	2,530	2,552	2,297	2,297	11,678		
	開拓の村火災発生対策費	火災報知設備改修	10,776	68,140	-	-	-	78,916		
	デジタルミュージアム活用事業	開拓の村3Dデータ作成	-	-	-	25,216	-	25,216	国庫補助	
	文化観光推進事業費（魅力増進事業）	展示整備	-	-	-	9,799	13,300	23,099	国庫補助【再掲1】	
	文化観光推進事業費（理解促進事業）	展示多言語化等	-	-	-	3,924	6,740	10,664	国庫補助【再掲2】	
	文化観光推進事業費（利便性・施設整備）	Wifi工事等	-	-	-	5,800	6,300	12,100	国庫補助	
活 動 実 績 （ Do ）	（単位：件数、回数）									
	内 容	数値目標	R2	R3	R4	R5	R6	計	備考	
	大規模改修工事（建設部実施）	-	0	2	2	0	1	5	-	
	補修工事・小規模修繕	-	6	1	1	1	1	10	-	
	老朽度調査	-	1	1	1	1	1	5	-	
	内部展示等改修	-	1	0	2	1	1	5	-	
火災報知設備の改修（～R3）	-	1	1	-	-	-	2	-		
自己点検評価 （ Check ）	達成区分	理 由							評価結果	
	目標・計画の達成状況	概ね計画どおり達成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ア 北海道開拓の村の歴史的建造物（全52棟）について、計画的に老朽度調査を実施し、建設部が行う大規模改修に事務を引き継ぎ、工事を実施</li> <li>・イ、ウ 国庫補助事業である文化観光拠点施設機能強化事業により、建物内部展示改修及び多言語解説化を実施</li> </ul>							<b>B</b>
	重点目標	有 無	重点目標その他の実績等の内容							
	その他実績等の有無	有	令和5年度から文化観光推進法に基づく「北海道立総合博物館を中核とした野幌森林公園エリアの文化観光推進拠点計画」の認定により獲得した外部資金を活用し、開拓の村の展示の磨き上げやインバンド向けの多言語解説の整備などを実施【重点①】							
成果（アウトカム）	5年間の成果（基本的運営方針に定める使命や基本方針の視点）									
	歴史的建造物を計画的に保全することに加え、建物がたどる歴史や物語に関して、内部展示を整備することで、魅力・訴求力を高めることができ、基本方針1（2） 特色ある地域文化の創造や地域活性化の拠点とすることができる博物館づくりに寄与した。									
課題と対応方向 （Action）	今後の課題と対応方向（第3期中期目標・計画期間へ引き継がれる課題等）									
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開拓の村建造物にまつわる歴史や文化をわかりやすく伝える展示の改訂・充実【第3期計画】</li> <li>・建造物のリアリティと建物内の演示（家具・調度品等）の両立による改修・整備【第3期計画】</li> </ul>									

## 第2期中期目標・計画 総合評価（自己点検評価）

項 目	5 教育普及事業									
担 当 課	学芸部 道民サービスグループ（現 事業部 教育・広報課）									
位置付け等	〈北海道博物館基本的運営方針〉 基本方針2 道民と共に歩み、愛される博物館として、豊かな時間と空間を提供する。									
中期目標・計画の内容 （ Plan ）	(1) 魅力あるイベントの実施（子ども向けイベント、入門的な体験イベント等） (2) 社会的ニーズに合わせた教育普及事業の充実（団体を対象としたレクチャー等） (3) はっけん広場の運営（教材開発・貸出等）									
予算措置の状況	（単位：千円）									
	事業名	概要	R2	R3	R4	R5	R6	計	備考	
	博物館事業費 （教育普及）	魅力あるイベントの実施	406	382	326	326	326	1,766		
	文化観光推進事業費（理解促進事業）	展示多言語化等	-	-	-	3,924	6,740	10,664	国庫補助【再掲2】	
博物館事業費 （展示解説業務）	会計年度任用職員雇用経費	5,054	5,119	5,124	5,282	12,813	33,392	【再掲2】		
活動実績 （ Do ）	（単位：件数、回数）									
	内 容	数値目標	R2	R3	R4	R5	R6	計	達成度	
	普及行事・特別イベント参加者数 （自然観察会、ちゃれんがワークショップ、子どもワークショップ、講演会、ミュージアムカレッジ、古文書講座、アイヌ講座）	80,000	783	1,386	1,994	2,198	3,417	9,778	12.2%	
	グループレクチャー利用者数	-	3,733	5,075	7,372	6,418	5,507	28,105	-	
	補助教材開発件数	-	12	4	2	-	-	18	-	
	音声ガイド貸出件数	-	-	-	91	458	397	946	-	
	はっけん広場利用者数	100,000	-	-	102	6,308	8,603	15,013	15.0%	
	ウェブサイトおうちミュージアムの公開	-	公開					-	-	
自己点検評価 （ Check ）	目標・計画の達成状況	達成区分	理 由						評価結果	
		達成せず	・（1）（2）（3）新型コロナに伴う臨時休館、感染拡大防止のため入場制限、イベント休止により、イベント参加者数、はっけん広場利用者数とも減少した。 ・第2期計画目標は、総合展示室利用者数に対する比率をもって設定したが、定員等の設定による利用者数の増加に制約があったことなど、現状と目標が大きく乖離した。（第3期では、現実的な目標を設定）						C +	
	重点目標 その他実績等の有無	有 無	重点目標その他の実績等の内容							
		有	・令和5年度から文化観光推進法に基づく「北海道立総合博物館を中核とした野幌森林公園エリアの文化観光推進拠点計画」の認定により獲得した外部資金を活用し、多言語化事業を実施【重点①】 ・新型コロナによる臨時休館・入場制限を行わざるを得ない中、オンラインを活かして、文化資源を人々に届ける「おうちミュージアム」を企画し、全国の博物館200館以上と連携して教材の公開等を行った。							
	成果 （アウトカム）	5年間の成果（基本的運営方針に定める使命や基本方針の視点）								
		・新型コロナ感染拡大を契機として、来館者の回帰策や、多様な利用用途（おうちミュージアム）を検討・実施することができた。 ・基本方針2（1）さまざまな人びとが繰り返し訪れ、親しまれる「わかりやすく、おもしろく、ためになる」博物館をめざし、利用者の視点に立った、創意工夫に満ちた博物館づくりに寄与した。								
課題と対応 方向 （Action）	今後の課題と対応方向（第3期中期目標・計画期間へ引き継がれる課題等）									
	・講座等のイベント参加者、はっけん広場利用者数の拡大【第3期計画】 ・場所や時間を問わず参加可能な、デジタル技術の活用方法の検討【答申】									

## 第2期中期目標・計画 総合評価（自己点検評価）

項 目	<b>6 ミュージアムエデュケーター機能の強化</b>									
担 当 課	学芸部 道民サービスグループ（現 事業部 教育・広報課）									
位置付け等	〈北海道博物館基本的運営方針〉 基本方針2 道民と共に歩み、愛される博物館として、豊かな時間と空間を提供する。									
中期目標・ 計画の内容 （ Plan ）	ア 博物館の教育普及活動に必要な職員の専門知識や技能の向上を図る。 イ 各種団体と連携し、より効果的な北海道博物館の利用を促進するための取組を進める。 ウ 学習指導要領を踏まえ、児童・生徒の主体的・対話的で深い学びをサポートするための取組を進める。									
予算措置 の 状 況	（単位：千円）									
	事 業 名	概 要	R2	R3	R4	R5	R6	計	備考	
	-	-	-	-	-	-	-	-		
活 動 実 績 （ Do ）	（単位：件数、回数）									
	内 容	数値目標	R2	R3	R4	R5	R6	計	備考	
	職員の研修会派遣者数	-	10	7	7	28	10	62	-	
	職員研修の実施回数	-	4	8	8	3	32	55	-	
	職員研修の実施延べ人数	-	13	29	29	10	98	179	-	
	学校教職員向け博物館研修会開催数	-	-	1	1	1	1	4	-	
	学校教職員向け博物館研修会参加者数	-	-	14	47	57	61	179	-	
学校団体向け補助教材貸出数	-	-	1	6	1	1	-	-		
自己点検 評価 （ C h e c k ）	達成区分	理 由							評価結果	
	目標・ 計画の 達成 状況	概ね計画 どおり達 成	・ア 来館者対応のため、解説員を中心とした研修会を実施し、特にR6年度はイベント対応の研修を多数実施した。 ・イ、ウ 学校団体の下見対応、学校利用ガイドの再構成、国立科学博物館企画の「教員のための博物館の日 in 札幌」の実施などにより博物館の利用方法の周知に努めた。							<b>B</b>
	重点目標 その他 実績等 の有無	有 無	重点目標その他の実績等の内容							
	成果 （アウトカ ム）	5年間の成果（基本的運営方針に定める使命や基本方針の視点）								
	・来館者対応にあたる解説員等向けの研修を積極的に行ったことで、専門知識と技能の向上が図られ、基本方針2（1）さまざまな人びとが繰り返し訪れ、親しまれる「わかりやすく、おもしろく、ためになる」博物館をめざし、利用者の視点に立った、創意工夫に満ちた博物館づくりに寄与した。									
課題と対応 方向 （Action）	今後の課題と対応方向（第3期中期目標・計画期間へ引き継がれる課題等）									
	・職員の資質とスキル向上に資する組織環境の整備・充実【改正博物館法、答申、第3期計画】 ・今後補助教材貸出等についての学校や教育委員会等への一層の周知と連携が望まれる。									

第2期中期目標・計画 総合評価（自己点検評価）

項目		7 施設及び周辺環境の整備								
担当課	総務部 総括グループ(現 総務部 総務課) / 学芸部 道民サービスグループ (現 事業部 教育・広報課 / 連携協働課)									
位置付け等	〈北海道博物館基本的運営方針〉 基本方針2 道民と共に歩み、愛される博物館として、豊かな時間と空間を提供する。									
中期目標・計画の内容 (Plan)	(1) 館内施設の整備と活用 ~ アメニティ設備の充実、記念ホール・講堂の活用等 (2) 周辺環境の整備 ~ アクセス利便性向上の取組推進、各施設のデザイン統一化、屋上スカイビュー等 (3) 野幌森林公園内施設との一体的な取組の推進 ~ 公園内の一体的かつ効果的な運営等									
予算措置の状況	(単位：千円)									
	事業名	概要	R2	R3	R4	R5	R6	計	備考	
	北海道博物館管理運営費	指定管理負担金	343,098	346,643	342,546	406,487	409,161	1,847,935		
	野幌森林公園管理費 (庁舎等維持費)	公用車消耗品、電話料等	3,986	3,986	3,618	3,256	3,256	18,102		
	博物館標準経費	事務経費	470	470	470	423	364	2,197		
	野幌森林公園管理費 (標準経費)	事務経費	183	183	183	165	165	879		
	野幌森林公園施設整備費	森林公園内施設改修	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	45,000		
	野幌森林公園エリア活性化事業	案内板設置等	-	21,099	18,458	-	-	39,557	国庫補助事業	
	文化観光推進事業費 (魅力増進事業)	展示整備	-	-	-	9,799	13,300	23,099	国庫補助事業【再掲1】	
	文化観光推進事業費 (理解促進事業)	展示多言語化等	-	-	-	3,924	6,740	10,664	国庫補助事業【再掲2】	
文化観光推進事業費 (利便性・施設整備)	Wifi工事等	-	-	-	5,800	6,300	12,100	国庫補助事業【再掲4】		
活動実績 (Do)	(単位：件数、回数)									
	内容	数値目標	R2	R3	R4	R5	R6	計	備考	
	記念ホール等館内施設活用件数	-	11	10	8	5	3	37	-	
	屋上スカイビュー特別開放日数	-	4	1	3	4	10	22	-	
	屋上スカイビュー特別開放利用者数	-	1,053	86	1,002	1,747	2,540	6,428	-	
	設備及び周辺環境の整備件数	-	6	4	10	2	3	25	-	
関係機関との連絡会議・協議会開催回数	-	11	11	14	13	13	62	-		
自己点検評価 (Check)	達成区分	理由						評価結果		
	目標・計画の達成状況	概ね計画どおり達成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ (1) 記念ホールやロビー等において、各種式典やスタンプラリーの実施等に効果的に活用することができた。また、「野幌森林公園エリア活性化事業」の一環として、収蔵資料のデジタルアーカイブ化を進め、博物館の魅力向上に取り組んだ。</li> <li>・ (2) 屋上スカイビューの特別開放は、新型コロナウイルスによる制限を解除。</li> <li>・ (3) 民間活力を活用した指定管理者制度による3施設の一体的な運営を継続するとともに、運営課題や周辺環境整備に関して、定期的に指定管理者の連絡調整の場を設けた。</li> </ul>						B+	
	重点目標その他実績等の有無	有	令和5年度から文化観光推進法に基づく「北海道立総合博物館を中核とした野幌森林公園エリアの文化観光推進拠点計画」の認定により獲得した外部資金を活用し、博物館や開拓の村の展示の磨き上げやインバンド向けの多言語解説の整備、収蔵資料のデジタルアーカイブ化などを実施【重点①】							
	成果 (アウトカム)	5年間の成果 (基本的運営方針に定める使命や基本方針の視点) 文化と観光の視点を持った新たな施策を展開することができ、また、記念ホールや屋上の利用など利用者環境を充実させることで、基本方針2 (1) さまざまな人々が繰り返し訪れ、親しまれる博物館づくりに寄与した。								
課題と対応方向 (Action)	今後の課題と対応方向 (第3期中期目標・計画期間へ引き継がれる課題等) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ バリアフリー化や施設設備改修を進め、多様な利用者の安全・安心を確保【第3期計画】</li> <li>・ 道民のみならず観光客を含め、多様な来館者への対応を一層充実【答申】</li> <li>・ 3施設一体となった「フィールドミュージアム」として広く認知されることが重要【答申】</li> </ul>									

## 第2期中期目標・計画 総合評価（自己点検評価）

項 目	8 広 報										
担 当 課	学芸部 道民サービスグループ（現 事業部 教育・広報課）										
位置付け等	〈北海道博物館基本的運営方針〉 基本方針2 道民と共に歩み、愛される博物館として、豊かな時間と空間を提供する。										
中期目標・計画の内容 （ Plan ）	(1) 広報活動の強化 広報媒体の活用、ロゴマークの活用等 (2) 他機関との連携による広報活動の強化										
予算措置 の 状 況	（単位：千円）										
	事業名	概要	R2	R3	R4	R5	R6	計	備考		
	博物館事業費 （広報サービス）	行事あんない、ちゃれんがニュース等作成	663	599	529	529	529	2,849			
博物館事業費（アイヌ研： 広報）	アイヌ文化に関する広報啓発経費	279	279	251	251	251	1,311				
活 動 実 績 （ Do ）	（単位：件数、回数）										
	内 容	数値目標	R2	R3	R4	R5	R6	計	備考		
	報道機関等への対応（掲載・報道実績）	-	235	224	189	102	154	904	-		
	報道機関向け説明会	-	2	2	4	4	5	17	-		
	報道機関への学術的知見の提供	-	27	34	18	7	7	93	-		
	広報用印刷物作成件数	-	4	6	8	8	11	37	-		
	森のちゃれんがニュースの発行回数	-	4	4	4	4	4	20	-		
	ウェブサイトアクセス数	1,300,000	333,276	279,677	437,859	413,105	293,981	1,757,898	-		
	X（旧ツイッター）投稿数	-	213	172	147	109	105	746	-		
	X（旧ツイッター）インプレッション数	-	1,257,222	831,514	437,114	413,756	340,200	3,279,806	-		
YouTubeによる広報件数	-	1	2	2	2	30	37	-			
外部イベントへの出展・参画回数	-	3	3	4	3	1	14	-			
自己点検 評価 （C h e c k）	達成区分	理 由							評価結果		
	目標・計画の達成状況	概ね計画どおり達成	・（1）ウェブサイトのアクセス数（5年間目標：1,300,000件）を135%達成した。 ・（2）外部イベント「カルチャーナイト」は、R6年度から出展料の支出が求められるようになったことから、出展を断念せざるを得なかった。							<b style="font-size: 2em;">B +</b>	
	重点目標	有 無	重点目標その他の実績等の内容								
	その他実績等の有無	有	近年、広報媒体も紙からデジタルへの移行が加速しており、道庁では、広報機能強化に向けて「プレスリリース配信サービスを活用した情報発信（PRTIMES）」を導入しており、令和5年度からは当館も企画展の広報で活用した。								
成果（アウトカム）	5年間の成果（基本的運営方針に定める使命や基本方針の視点）										
	多様な媒体を活用し、博物館の多様な活動を広く紹介することができ、基本方針2（1）さまざまな人々が繰り返し訪れ、親しまれる「わかりやすく、おもしろく、ためになる」博物館をめざし、利用者の視点に立った、創意工夫に満ちた博物館づくりに寄与した。										
課題と対応方向 （Action）	今後の課題と対応方向（第3期中期目標・計画期間へ引き継がれる課題等）										
	・多様なターゲットに対して、効果的なアプローチを行うため、HP、SNS、YouTube等による情報・コンテンツの発信強化【第3期計画】										

## 第2期中期目標・計画 総合評価（自己点検評価）

項 目	9 評価制度の活用と利用者ニーズの把握										
担 当 課	総務部 総括グループ（現 総務部 総務課）／企画グループ（現 企画課）										
位置付け等	〈北海道博物館基本的運営方針〉 基本方針2 道民と共に歩み、愛される博物館として、豊かな時間と空間を提供する。										
中期目標・ 計画の内容 （ Plan ）	ア 博物館として自己点検評価を実施 イ 利用者調査の実施 ウ 博物館協議会による外部評価を実施										
予算措置 の 状 況	（単位：千円）										
	事業名	概要	R2	R3	R4	R5	R6	計	備考		
	各種審議会経費	博物館協議会運営経費	416	416	416	416	429	2,093			
活 動 実 績 （ Do ）	（単位：件数、回数）										
	内 容	数値目標	R2	R3	R4	R5	R6	計	備考		
	北海道博物館要覧の編集・刊行回数	-	1	1	-	1	1	4	-		
	博物館評価（自己点検評価）の実施回数	-	1	1	1	-	-	3	-		
	協議会評価（外部評価）総合評点		B	B	B	-	-	B	-		
	利用者満足度（テーマ展）	-	-	97.4%	97.1%	98.3%	97.4%	/	-		
	利用者満足度（特別展）	-	99.7%	100.0%	95.1%	83.6%	97.2%	/	-		
	利用者満足度（総合展示 ※特別展期）	-	96.4%	100.0%	96.9%	95.6%	98.3%	/	-		
	利用者満足度（アイヌ文化巡回展）	-	97.6%	100.0%	96.3%	100.0%	100.0%	/	-		
利用者満足度（指定管理者）	-	90.9%	100.0%	92.6%	92.0%	88.6%	/	-			
自己点検 評価 （ C h e c k ）	達成区分	理 由							評価結果		
	目標・ 計画の 達成 状況	達成せず	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ア、ウ 協議会の意見を取り入れながら評価方法を見直したが、令和5年度、6年度の博物館評価（自己点検評価）を実施せず、これに伴う協議会評価も行うことができなかった。</li> <li>・イ 利用者調査に関しては、継続的に実施し、利用者ニーズと満足度を把握した。</li> </ul>							<div style="text-align: right; font-size: 2em; font-weight: bold;">C</div>	
	重点目標 その他 実績等 の有無	有 無	重点目標その他の実績等の内容							<div style="text-align: right; font-size: 2em; font-weight: bold;">C</div>	
成果 （アウトカ ム）	5年間の成果（基本的運営方針に定める使命や基本方針の視点）										
	利用者満足度が高水準で推移したことは、博物館のこれまでの活動の成果が表れたものと考えられる。評価については第2期計画期では、見直しを行い、博物館運営の改善に向けた意識を醸成できた。基本方針2（1）利用者の視点に立った創意工夫に満ちた博物館づくり、（2）道民が多面的に参画する機会を創出することによって、博物館活動をより豊かにし、道民と連携、協働する博物館づくりに寄与した。										
課題と対応 方向 （Action）	今後の課題と対応方向（第3期中期目標・計画期間へ引き継がれる課題等）										
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・博物館の運営の改善を図るため、組織として課題等の共通認識化を図るとともに、基本的運営方針や第3期中期目標・計画に基づいた運営を確保し、各事業の水準の向上に資する評価制度のあり方を検討</li> </ul>										

## 第2期中期目標・計画 総合評価（自己点検評価）

項 目	10 道民参加の推進										
担 当 課	総務部 企画グループ（現 総務部 企画課）										
位置付け等	〈北海道博物館基本的運営方針〉 基本方針2 道民と共に歩み、愛される博物館として、豊かな時間と空間を提供する。										
中期目標・計画の内容 （ Plan ）	ア 博物館活動への道民参加の促進・道民との連携強化 イ 道民が博物館活動に深く関わる事業を企画・立案・実施 ウ 北海道博物館における道民参加型活動のあり方を検討										
予算措置の状況	（単位：千円）										
	事業名	概要	R2	R3	R4	R5	R6	計	備考		
	博物館試験研究費（地域情報集積プロジェクト）	道民と協働・連携した研究費	2,985	2,768	2,251	1,964	1,964	11,932	【再掲3】		
活 動 実 績 （ Do ）	（単位：件数、回数）										
	内 容	数値目標	R2	R3	R4	R5	R6	計	備考		
	ちやれんが古文書クラブ参加延べ人数	-	98	76	165	170	170	679	-		
	図書室支援員延べ活動日数	-	43	37	79	65	55	279	-		
	道民参加型展示開設数	-	4	4	4	4	4	20	-		
地域情報集積プロジェクト研究課題数	-	5	5	5	5	5	25	【再掲3】			
自己点検評価 （ Check ）	達成区分	理 由							評価結果		
	目標・計画の達成状況	概ね計画どおり達成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ア、ウ 古文書学習サークル（ちやれんが古文書クラブ）、ボランティア活動である図書室支援員の活動については、新型コロナの影響を受けつつも、後半からは活発な活動を行うことができた。道民と連携した研究プロジェクトも5課題実施できた。</li> <li>・イ 総合展示室、休憩ラウンジ、2階ロビーにて行った道民参加型展示についても、計画的に実施することができた。</li> </ul>							<b>B+</b>	
	重点目標	有 無	重点目標その他の実績等の内容								
	その他実績等の有無	有	当館資料を用いた道民参加型の古文書学習サークル（ちやれんが古文書クラブ）を新たに試行し、軌道に乗せた。【重点②】								
成果 （アウトカム）	5年間の成果（基本的運営方針に定める使命や基本方針の視点）										
	当館資料を用いた道民参加型のサークルの開設により、新たな道民参加の機会を提供することができ、基本方針2（2）道民が多面的に参画する機会を創出することによって、博物館活動をより豊かにし、道民と連携・協働する博物館づくりに寄与した。										
課題と対応方向 （Action）	今後の課題と対応方向（第3期中期目標・計画期間へ引き継がれる課題等）										
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域との信頼構築、または、地域との関わりをより深めていくため、参加対象にとって望ましい相互関係のあり方について、検討を加え、これまでの取組の充実を図る。【答申】</li> <li>・組織的な道民参加型事業のための道民からの意見やニーズを把握する必要がある【答申、第3期計画】</li> </ul>										

## 第2期中期目標・計画 総合評価（自己点検評価）

項 目	1 1 博物館ネットワーク								
担 当 課	総務部 企画グループ（現 総務部 企画課／事業部 連携協働課）								
位置付け等	〈北海道博物館基本的運営方針〉 基本方針3 北海道の中核的博物館として、地域の活性化に貢献								
中期目標・計画の内容 （ Plan ）	(1) 各種博物館団体との連携 ～ 日本博物館協会、全国歴史民俗系博物館協議会との連携、北海道博物館協会との連携 (2) 博物館交流の促進 ～ 地域の博物館との連携								
予算措置の状況	（単位：千円）								
	事業名	概要	R2	R3	R4	R5	R6	計	備考
	各種負担金	日本博物館協会、北海道博物館協会負担金	75	70	65	65	65	340	
博物館試験研究費 （総合研究プロジェクト）	地域博物館と連携した研究費	1,717	1,484	1,388	1,367	1,367	7,323	【再掲3】	
活 動 実 績 （ Do ）	（単位：件数、回数）								
	内 容	数値目標	R2	R3	R4	R5	R6	計	備考
	全国博物館大会への出席回数	-	1	1	-	-	-	2	
	全国博物館長会議への出席回数	-	1	1	1	1	1	5	
	全国歴史民俗系博物館協議会への出席回数	-	1	1	1	1	1	5	
	北海道博物館大会（北海道博物館協会）開催数	-	1	1	1	1	1	5	
	かるちやるネット共同イベント開催数	-	1	1	1	2	4	9	
	かるちやるネット通信刊行回数	-	4	4	4	4	4	20	
	博物館等とのネットワークへの参加回数	-	3	5	3	3	3	17	
	その他、他館との連携の実施回数	-	-	-	-	1	-	1	
総合研究プロジェクト研究課題数	-	4	4	3	3	3	13	【再掲3】	
自己点検評価 （ Check ）	達成区分	理 由						評価結果	
	目標・計画の達成状況	概ね計画どおり達成	・（1）日本博物館協会北海道支部長館および全国歴史民俗系博物館協議会の北海道ブロック幹事館として、全国規模の博物館団体と道内博物館をつなぐ役割に務めた。また、北海道博物館協会の事務局館として、博物館大会の開催や情報集約と情報共有など道内博物館との連携に努めた。 ・（2）厚別・江別の10の文化施設から構成する「かるちやるnet」（文化施設連絡協議会）の事務局として、ワークショップ等イベント開催等の活動を継続的に実施した。地域の博物館等ネットワークにも継続的に参加、連携に努めた。						B +
	重点目標	有 無	重点目標その他の実績等の内容						
	その他実績等の有無	有	ウポポイ（民族共生象徴空間）の運営に関して、資料の貸与、展示会の企画への知見・情報提供、アイヌ文化でつながる博物館ネットワーク（愛称：ブンカㇿ）への参画など、人的・物的協力を通じて、連携を含め、地域の活性化へ貢献【重点③】						
成果 （アウトカム）	5年間の成果（基本的運営方針に定める使命や基本方針の視点）								
	博物館団体との連携や交流を通じて、地域との関わりを深め、信頼関係の構築に継続して取り組むことができ、基本方針3 北海道の中核的博物館としての活動を通じて、地域の博物館等とのネットワークを強化し、地域活性化に貢献した。								
課題と対応方向 （Action）	今後の課題と対応方向（第3期中期目標・計画期間へ引き継がれる課題等）								
	・地域との信頼構築、または、地域との関わりをより深めていくため、参加対象にとって望ましい相互関係のあり方について、検討を加え、これまでの取組の充実を図る。【答申】 ・災害発生時の対応、防災に向けた継続的取り組みに向けた道内の他の博物館等と連携・協力する必要がある【第3期計画】								

## 第2期中期目標・計画 総合評価（自己点検評価）

項 目	1 2 情報発信										
担 当 課	学芸部 博物館基盤グループ（現 学芸部 展示・資料課）										
位置付け等	〈北海道博物館基本的運営方針〉 基本方針 4 専門的・総合的な研究を行う博物館として、北海道の未来に貢献										
中期目標・計画の内容 ( Plan )	(1) 情報発信機能の強化 ～ 収蔵資料、図書、刊行物のデータベース化等 (2) 道民の知りたい気持ちへの支援 ～ 図書室の充実、閲覧・模写等のサービス充実、レファレンスや学習支援の機能の強化										
予算措置の状況	(単位：千円)										
	事業名	概要	R2	R3	R4	R5	R6	計	備考		
	博物館事業費 (資料収集・保存管理)	博物館の各種活動(資料収集・保存)に要する経費	495	445	355	355	355	2,005	【再掲1】		
	博物館事業費(アイヌ研：資料収集)	アイヌ文化に関する資料収集等経費	1,555	1,630	1,512	268	268	5,233	【再掲1】		
	情報システム整備	博物館情報システム管理費	7,642	5,338	5,338	5,338	5,344	29,000	【再掲1】		
	樺太記憶継承事業費(資料保管)	全国樺太連盟から委譲された資料の保存処理	2,973	2,753	2,576	1,254	633	10,189	【再掲1】		
	文化観光推進事業費(魅力増進事業)	収蔵資料のデジタル化等	-	-	-	9,799	13,300	23,099	国庫補助【再掲1】		
活動実績 ( Do )	(単位：件数、回数)										
	内 容	数値目標	R2	R3	R4	R5	R6	計	備考		
	一括資料目録刊行件数	-	-	-	-	1	1	2	【再掲1】		
	資料データベース新規登録件数	-	762	1,137	426	489	3,484	6,298	【再掲1】		
	ウェブサイト新規公開件数	-	-	-	258	862	298	1,418	【再掲1】		
	資料貸出点数	-	25	25	24	14	32	120	【再掲1】		
	特別観覧(熟覧)点数	-	34	40	53	57	45	229	【再掲1】		
	模写品等刊行物等使用承認点数	-	129	126	135	114	107	611	【再掲1】		
	ウェブサイトアクセス数	1,300,000	333,276	279,677	437,859	413,105	293,981	1,757,898	【再掲8】		
	図書室利用者数	-	2,815	1,659	3,859	3,582	3,201	15,116	-		
	新規受入図書数	-	1,458	1,537	1,916	1,511	1,471	7,893	-		
図書紹介コーナー入替回数	-	6	3	6	6	9	30	-			
レファレンス対応件数	2,800	221	157	214	314	205	1,111	-			
自己点検評価 ( Check )	達成区分	理 由							評価結果		
	目標・計画の達成状況	概ね計画どおり達成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(1) 新たなシステム(I.B.MUSEAM)に更新し、管理や公開の水準・機能を強化【再掲1】</li> <li>・資料貸出、特別観覧、画像利用も期を通して継続的に推移【再掲1】</li> <li>・ウェブサイトのアクセス数(5年間目標：1,300,000件)を135%達成した。【再掲8】</li> <li>・(2) 図書室利用者数とレファレンス対応件数は、新型コロナの影響を受け、後者は目標(5年間目標：2,800件)を下回った。</li> </ul>							➡ <b>B+</b>	
	重点目標	有 無	重点目標その他の実績等の内容								
	その他実績等の有無	有	<ul style="list-style-type: none"> <li>・樺太の歴史や文化を継承することを目的に、(一社)全国樺太連盟から委譲された資料(6,000点)を受入れ(R2～15年間で保管・研究・活用に関する事業を実施(予定))。また、当該資料に係る一括資料目録を刊行(R5・R6年度)【重点④】</li> </ul>								
成果 (アウトカム)	5年間の成果(基本的運営方針に定める使命や基本方針の視点)										
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナにより、「道民の知りたい気持ち」のアプローチ方法もまた、変化を見せた中、情報発信・学習機能の水準を維持・向上でき、基本方針4(1)北海道とそれを取り巻く地域の自然、歴史、文化を学術的に調査研究する総合博物館として、その研究成果を活かして北海道の豊かな未来の実現に寄与した。</li> </ul>										
課題と対応方向 (Action)	今後の課題と対応方向(第3期中期目標・計画期間へ引き継がれる課題等)										
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料、調査研究、博物館活動に関するデジタル・アーカイブ化の推進【答申、改正博物館法、第3期計画】</li> <li>・レファレンス事例の集積による、学習支援・レファレンスの質の向上【第3期計画】</li> </ul>										

## 第2期中期目標・計画 総合評価（自己点検評価）

項 目	1 3 人材育成機能の強化と社会貢献									
担 当 課	総務部 企画グループ（現 総務部 企画課／事業部 連携協働課）／学芸部 研究戦略グループ（現 学芸部 研究交流課）									
位置付け等	<北海道博物館基本的運営方針> 基本方針1 北海道立の総合博物館として、備えるべき基本的な機能を検証し、その充実を図る。 基本方針4 専門的・総合的な研究を行う博物館として、北海道の未来に貢献する。									
中期目標・計画の内容 （ Plan ）	(1) 博物館実習生やインターンシップなどの受入れ (2) 外来研究員の受入 (3) 当館職員資質の向上 (4) 職員の対外的貢献 (5) 外部機関との事業連携 (6) 道民の豊かな暮らしづくり・北海道の未来づくりへの貢献									
予算措置の状況	（単位：千円）									
	事業名	概要	R2	R3	R4	R5	R6	計	備考	
	-	-	-	-	-	-	-	-		
活 動 実 績 （ Do ）	（単位：件数、回数）									
	内 容	数値目標	R2	R3	R4	R5	R6	計	備考	
	博物館実習（館務研修）の受入人数	-	14	14	16	20	15	79		
	インターンシップの受入人数	-	-	-	2	7	14	23		
	見学実習の受入人数	-	19	8	74	68	72	241		
	職員の外部研修への参加人数	-	10	7	7	28	10	62	【再掲6】	
	職員の各種委員への就任件数	-	37	46	49	35	27	194		
	職員の非常勤講師への就任件数	-	13	19	23	16	19	90		
	職員の派遣（オンライン含む）件数	-	39	74	69	59	58	299		
	職員の外部刊行物執筆協力件数	-	29	60	48	12	13	162		
外部機関との連携・協力件数	-	16	8	11	1	8	44			
自己点検評価 （ Check ）	達成区分	理 由						評価結果		
	目標・計画の達成状況	概ね計画どおり達成	・（1）新型コロナウイルスの影響を受けつつも継続し、期の後半は博物館実習の受入れ人数の拡大を図った。博物館実習のより効果的なプログラムの構築を行った。 ・（2）組織上の位置づけや、受入れに係る問題点について検討を行った。 ・（3）（4）（5）新型コロナウイルスの影響を受けつつも、継続的に実施できた。						➡	<b>B</b>
	重点目標 その他実績等の有無	有 無	重点目標その他の実績等の内容						➡	<b>+</b>
	成果 （アウトカム）	有	・（1）各大学から求められる評価項目・内容の不統一が認められていた博物館実習の評価について、より客観的な評価となるような評価内容の整理と評価基準の明確化を行った。						➡	
課題と対応 方向 （Action）	5年間の成果（基本的運営方針に定める使命や基本方針の視点）									
	次代の文化を受け継ぐ博物館等に関わる人材の育成、職員資質の向上、職員の社会貢献についても継続して行えたことから、基本方針1（1）総合博物館として、活動の基本となる調査研究機能を高め、北海道ならではの自然・歴史・文化に関わる遺産を最大限活かし、質の高い活動を展開する博物館づくり、4（1）研究成果を活かして北海道の豊かな未来の実現に貢献した。									
今後の課題と対応方向（第3期中期目標・計画期間へ引き継がれる課題等）										
・職員の資質とスキル向上に資するより多くの参加機会の創出が求められる【改正博物館法、答申、第3期計画】										

## 第2期中期目標・計画 総合評価（自己点検評価）

項 目	1 4 研究成果の発信										
担 当 課	学芸部 研究戦略グループ（現 学芸部 研究交流課）										
位置付け等	〈北海道博物館基本的運営方針〉 基本方針1 北海道立の総合博物館として、備えるべき基本的な機能を検証し、その充実を図る。 基本方針4 専門的・総合的な研究を行う博物館として、北海道の未来に貢献する。										
中期目標・計画の内容 ( Plan )	(1) 学術刊行物などの刊行 (2) 学会への発信										
予算措置の状況	(単位：千円)										
	事業名	概要	R2	R3	R4	R5	R6	計	備考		
	博物館事業費(アイヌ研：調査研究)	アイヌ文化に関する調査研究費	1,454	1,182	920	919	919	5,394	【再掲3】		
	試験研究費（一般研究）	道立試験研究機関としての研究費	1,900	1,710	1,170	1,399	1,399	7,578	【再掲3】		
	博物館試験研究費（地域情報集積プロジェクト）	道民と協働・連携した研究費	2,985	2,768	2,251	1,964	1,964	11,932	【再掲3】		
	博物館試験研究費（外部資金活用研究）	競争的外部資金を活用した研究費	6,460	6,653	6,270	6,337	7,204	32,924	【再掲3】		
	博物館試験研究費（総合研究プロジェクト）	地域博物館と連携した研究費	1,717	1,484	1,388	1,367	1,367	7,323	【再掲3】		
	博物館試験研究費（北方文化共同研究事業）	道と友好提携している州との共同研究費	2,069	1,782	1,059	1,801	1,001	7,712	【再掲3】		
	博物館試験研究費（研究成果の集約・発信）	研究紀要等の発行	599	599	549	702	702	3,151	【再掲3】		
樺太記憶継承事業費（調査研究）	委譲資料の分析調査（全国樺太連盟から委譲された資料の研究費）	300	300	300	1,680	1,680	4,260	【再掲3】			
活動実績 ( Do )	(単位：件数、回数)										
	内 容	数値目標	R2	R3	R4	R5	R6	計	備考		
	北海道博物館研究紀要の発行回数	-	1	1	1	1	1	5			
	北海道博物館アイヌ研研究紀要の発行回数	-	1	1	1	1	1	5			
	学会・研究会での発表件数	-	5	5	9	6	15	40			
学術雑誌への投稿件数	-	8	6	18	12	20	64				
自己点検評価 ( Check )	達成区分	理 由							評価結果		
	目標・計画の達成状況	概ね計画どおり達成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ (1) 学術刊行物は、継続的に実施</li> <li>・ (2) 学会等の発表件数は、コロナの影響を受けたが、後半回復した。</li> </ul>							<div style="font-size: 2em; font-weight: bold; text-align: center;">B +</div>	
	重点目標 その他実績等の有無	有 無	重点目標その他の実績等の内容								
	有	樺太の歴史や文化を継承することを目的に、（一社）全国樺太連盟から委譲された資料（6,000点）を受入れ〈R2～15年間で保管・研究・活用に関する事業を実施【重点④】									
成果 (アウトカム)	5年間の成果（基本的運営方針に定める使命や基本方針の視点）										
北海道特有の地域的課題に基づく調査研究の企画立案や外部資金の積極的な獲得により、着実に調査研究活動を進めることができ、基本方針1（1）総合博物館として、活動の基本となる調査研究機能を高め、北海道ならではの自然・歴史・文化に関わる遺産を最大限活かし、質の高い活動を展開する博物館づくり、4（1）研究成果を活かして北海道の豊かな未来に貢献した。											
課題と対応 方向 (Action)	今後の課題と対応方向（第3期中期目標・計画期間へ引き継がれる課題等）										
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調査研究の成果を、デジタル技術の活用など、多様な形で社会に還元する仕組みを検討・強化【答申】</li> <li>・ 自然、歴史、文化に関する資料等の「意義」を伝えられることを意識した調査研究を推進【答申】</li> </ul>											

第2期中期目標・計画 総合評価（自己点検評価）

項目		15 アイヌ民族文化研究センターの事業								
担当課		アイヌ民族文化研究センター								
位置付け等		〈北海道博物館基本的運営方針〉 基本方針4 専門的・総合的な研究を行う博物館として、北海道の未来に貢献する。 (アイヌ文化の振興に寄与するとともに、多文化共生社会の実現に貢献する。)								
中期目標・計画の内容 ( Plan )		(1) アイヌ文化に関わる調査研究とその成果の普及 (2) アイヌ文化に関する学術情報の集約と発信・研究支援								
予算措置の状況		(単位：千円)								
		事業名	概要	R2	R3	R4	R5	R6	計	備考
		博物館事業費(アイヌ研：資料収集)	アイヌ文化に関する資料収集等経費	1,555	1,630	1,512	268	268	5,233	【再掲1】
		博物館事業費(アイヌ研：調査研究)	アイヌ文化に関する調査研究費	1,454	1,182	920	919	919	5,394	【再掲3】
		博物館事業費(アイヌ研：広報)	アイヌ文化に関する広報啓発経費	279	279	251	251	251	1,311	【再掲8】
	アイヌ文化情報発信強化事業	アイヌ文化に関する講座、講演会等開催経費	12,969	12,610	11,680	9,831	10,252	57,342		
活動実績 ( Do )		(単位：件数、回数)								
		内容	数値目標	R2	R3	R4	R5	R6	計	備考
		アイヌ研企画研究プロジェクト課題数	-	2	2	2	2	2	10	
		アイヌ関係外部資金活用研究課題数	-	5	7	8	6	4	30	
		北海道博物館アイヌ研研究紀要の発行回数	-	1	1	1	1	1	5	【再掲14】
		館内実施のアイヌ関連教育普及事業件数	-	6	11	11	11	11	50	
		アイヌ文化巡回展関連講座開催数	-	4	4	1	4	2	15	
		アイヌ関連企画展示実施数	-	3	1	1	-	2	7	
		総合展示第2テーマ資料入替点数	-	16	9	34	32	6	97	
		クローズアップ展示コーナー更新回数	-	6	7	8	8	6	35	
		道内市町村と連携したアイヌ文化巡回展開催数	-	1	3	2	4	1	11	
		博物館広報誌を通じた情報発信記事数	-	4	8	6	7	8	33	
自己点検評価 ( Check )	目標・計画の達成状況	達成区分	理由					評価結果		
	重点目標 その他実績等の有無	概ね計画どおり達成	・(1)(2) アイヌ文化に関する研究、研究紀要の発行、地域での講演及び巡回展、学術情報誌の発信については、コロナの影響を受けつつも継続的に実施					 <b>B+</b>		
		有無	重点目標その他の実績等の内容							
	成果 (アウトカム)	有	ウボボイ(民族共生象徴空間)の運営に関して、資料の貸与、展示会の企画への知見・情報提供、アイヌ文化でつながる博物館ネットワーク(愛称：ブンカㇿ)への参画など、人的・物的協力を通じて、連携を含め、地域の活性化へ貢献【重点③】							
		5年間の成果(基本的運営方針に定める使命や基本方針の視点)								
課題と対応方向 ( Action )	今後の課題と対応方向(第3期中期目標・計画期間へ引き継がれる課題等)									
	・伝統的なモノを展示・解説するだけでなく、モノとともにある精神や歴史を共有し、その文化が現代にどのように継承されているのか等を意識して事業を進めること【答申】									